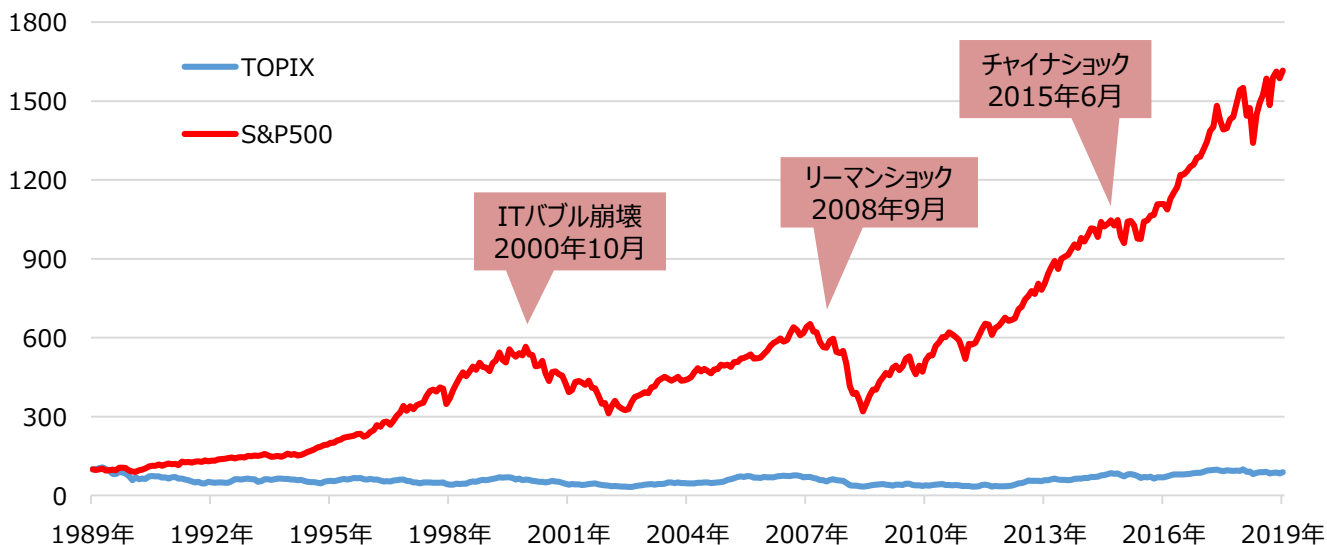


- 500銘柄と構成銘柄数が多く、分散投資効果が得られやすい指数です。
- 過去の推移を見ますと、高い利益を獲得してきました。
- 今後の米国の良好な経済状況を反映し堅調に推移していくことが期待されます。

S&P500概要

S&P500	
特徴	米国の代表的な株価指数。本指数は 時価総額加重平均型株価指数 であり、機関投資家の運用実績を測定するベンチマークとして利用されることも多い指数です。
構成銘柄	主要上場市場が米国の取引所（ニューヨーク証券取引所、NASDAQ等）の米国企業で、流動性がある大型株から、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社が選定する 500銘柄 より構成されています。本指数は米国企業の株価指数であることを意図しており、上場銘柄であっても、米国企業ではないと判断されると、本指数の対象外となります。

S&P500・TOPIX過去30年推移



【出所】 Bloombergデータ等を基にSBIアセットマネジメントが作成
データ期間（1989年9月～2019年9月）、TOPIXとS&P500を1989年9月末時点を100として指数化

我が国の指数であるTOPIXと比較すると、堅調に推移していることが分かります。

1989年から現在までのS&P500指数の推移を見ると、ITバブル崩壊・リーマンショック・チャイナショックといった経済危機後も力強い成長を続けてきたことが分かります。

足元でも10月28日に3ヵ月ぶりに過去最高値を更新しました。今後も米国企業の好調な企業決算と一株当たりの利益（EPS）、GDP成長率を勘案すると、堅調に推移していくことが期待されます。

ご留意事項

- 本資料は、SBIアセットマネジメント（以下「当社」といいます）が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しております。金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。
- 当社は本資料に記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料中のグラフや数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。
- 本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当社は責任を負いません。
- 本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

S&P500®は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスがSBIアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®は、S&P Globalの一部門であるStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスがSBIアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、いかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切の責任を負いません。